

# えべつ 市議会だより

平成23年6月1日発行

## No.105

発行 江別市議会  
江別市高砂町6番地  
電話011(381)1051

編集 市議会報編集委員会  
印刷 株式会社須田製版



～第36回 市民植樹～

新年度一般会計予算は386億4千500万円に

## 主な内容

- ◇第1回定例会の概要…………… 2～3
- ◇第2回臨時会の概要…………… 3
- ◇一般質問、議会の動き…………… 4～6
- ◇予算審査の概要…………… 7
- ◇意見書、陳情等…………… 8

市議会ホームページ <http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/gikai/>

障がいのある方のための、点字とカセットテープによる「えべつ市議会だより」もあります。〔詳細〕福祉課障がい福祉係 ☎381-1031

# 平成23年 第1回 定例会

## 条例

◎犯罪及び交通事故のない安全で安心なまちづくり条例の制定

近年、児童や高齢者が被害者となる犯罪等が後を絶たず、市民一人ひとりが日常生活の中で防犯意識を高めることが求められています。

このため、現行の生活安全条例を廃止し、自治基本条例の理念に沿った市民参加・市民協働による安全で安心なまちづくりを進める目的で、新たに条例を制定するものです。

◎職員の給与に関する条例及び企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正

国家公務員の取扱いに準拠し、持家に住む職員に支給している住居手当月額7千円を23年度から段階的に引き下げ、25年度をもって廃止するものです。

◎国民健康保険条例の一部改正

健全な事業運営と負担能力に応じた公平な課税を行うため、基礎課税額の限度額を3万円引き上げ50万円にするほ

か、後期高齢者支援金等課税額の限度額を1万円引き上げ13万円にそれぞれ改めるものです。

◎国民健康保険条例の一部改正

平成21年10月1日から平成23年3月31日までの暫定措置として、従来の出産育児一時金に4万円を上乗せし、39万円を支給してきました。

引き続き妊産婦の経済的負担を軽減し、安心して出産できるように必要な改正を行うものです。

◎水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部改正

現在、北広島市から給水を受けている西野幌の一部の区域について、石狩東部広域水道企業団拡張事業の供用開始に伴い、25年度から当市による給水が可能となることから、必要な改正を行うものです。

## 人事・一般議案

◎固定資産評価審査委員会委員の選任

◇佐藤允氏(弥生町11番地の16)の再任に同意。

◎財産の取得の議決変更

平成22年第4回定例会で、土地開発公社の解散に当たり、市が同公社の保有地等を取得する議案が可決されました。

しかしその後、国から主要な財源となる第三セクター等改革推進債は、保有地の購入ではなく、同公社に対する貸付金を整理する経費に充てるべきとの統一の取扱いが示されましたので、さきの議決内容を変更するために改めて提案されたものです。

◎権利の放棄

土地開発公社の解散に向けた清算手続として、同公社に対する貸付金のうち、返済不能となる8億5千52万4千166円の返還請求権を放棄するものです。

◎北海道市町村総合事務組合規約の一部変更

同組合に広域紋別病院企業団が加入することから、必要な改正を行うものです。

◎市道路線の認定及び変更

道路の整備やこせん人道橋等の路線を精査したことに伴い、新たに7路線を認定し、1路線を変更した結果、市道総数は2千370路線、総延長は

830・429kmとなりました。

## 予算

◎平成23年度各会計予算

一般会計の外、4特別会計と3企業会計予算が可決されました。審査経過については7ページをごらんください。

◎平成22年度各会計補正予算

○一般会計(第7号)  
決算見込みの反映や国等の補正予算、その他緊急を要するものへの措置などにより、12億5千887万2千円を減額し、予算総額は、440億3千690万4千円になりました。

○一般会計(第8号)

3月11日に発生した東日本大震災で甚大な被害を受けた被災地への見舞金200万円及び除排雪経費7千700万円の合計7千900万円を増額し、予算総額は、441億1千590万4千円になりました。

○国民健康保険特別会計

被保険者の給付費や療養費の増加などにより、5億5千998万3千円を増額し、予算総額は、120億2千290万7千円になりました。

第1回定例会は3月2日から25日まで24日間の会期で開かれました。  
新年度各会計予算をはじめ、犯罪及び交通事故のない安全で安心なまちづくり条例の制定や国民健康保険税条例の一部改正などの議案26件、意見書案2件、陳情1件、報告11件を議了しました。  
一般質問は9日と10日の2日間行われ、8名の議員が市政全般にわたって見解をいただきました。  
議案と予算審査の内容についてお知らせいたします。

一般会計補正予算(第7号)の概要

Table with 2 columns: 事業内容 (Business Content) and 補正額(千円) (Correction Amount in 1000 Yen). Rows include items like 基金積立金, 用地取得等経費, 衆・参議院議員選挙執行経費, etc.

○老人保健特別会計
給付費の決算見込みにより、120万円を減額し、予算総額は、1億6千33万5千円になりました。
○介護保険特別会計
介護認定申請の増加に伴い、認定審査会等に要する経費など546万9千円を増額し、予算総額は、68億4千751万6千円になりました。

○水道事業・下水道事業各会計
事業の確定や決算見込みなどにより、水道事業は総額で3千992万2千円を減額し、下水道事業は総額で2千904万6千円を減額しました。
○江別振興公社、在宅福祉サービス公社、スポーツ振興財団の事業計画に関する書類
市が出資している公社や財団の新年度事業計画が報告されました。

報 告

市議会議員選挙後、初の議会となった第2回臨時会で、正副議長をはじめ各常任委員会など新たな議会構成が決定されました。
○石狩東部広域水道企業団議会員の選挙
尾田善靖議員、清水直幸議員が当選。
○札幌広域圏組合議会議員の選挙
尾田善靖議員が当選。
○石狩教育研修センター組合議会議員の選挙
齊藤佐知子議員が当選。

○専決処分
交通事故と救急活動中における物的損害の賠償について、相手方との示談が成立した旨報告されました。
○専決処分の承認(一般会計補正予算(第6号))
平成23年2月10日付けで市長が専決処分を行った補正予算を承認したもので、1月の集中的な豪雪に対応する除排雪経費など合計2億3千100万円を増額しました。

第2回臨時会 5月17日
○監査委員の選任
坂下博幸議員の選任に同意。
○農業委員会委員の推薦
星秀雄議員、吉本和子議員の推薦を決定。
○専決処分の承認(市税条例の一部改正)
地方税法の一部改正により、5月2日付けで市長が専決処分を行った市税条例の一部改正を承認したもので、東日本大震災被災者の負担を軽減するため、雑損控除等に関する特例制度が設けられたことに伴い、必要な改正を行いました。

副議長 清水 直幸
議長 尾田 善靖

Table with 5 columns: 議会運営委員会, 常任委員会 (総務文教, 生活福祉, 経済建設), 議会報編集委員会, 図書室運営委員会. Lists names of members in each committee.

# 一般質問

今定例会では、8人の議員が一般質問を行いました。各議員が行った質問の中から、2項目を選び、要約して掲載しています。

ほしば よしこ  
**干場 芳子** 議員  
環境・平和・市民の会

## 子育て支援

**問** 放課後児童会の受入れ対象を小学校四年生まで拡充すべきではないか。

**答** 民間の放課後児童会では、小学校一年生から三年生までの児童を優先的に受け入れながら、可能な範囲で四年生以上も受け入れている。児童会運営費の補助対象は一年生から三年生までと障がい児としているが、北海道からの通知に基づき、今後は、四年生以上の児童も対象にすることに検討していきたい。

## 化学物質対策

**問** シックスクール対策について、どのように検討を進めてきたのか。

**答** 教育委員会では、マニユ

アルの策定に向けて、先進都市を参考に調査・研究してきたが、極めて専門的な内容を含んでいる。市の公共建築物に関するシックハウス対策の中にシックスクール対策マニュアルをどのように位置付けるかという課題もあることから、関係部と協議、調整を図りながら解決に努めている。

シックスクールについては、既に具体的な対策を進めており、資材の選定など施工業者への指導や化学物質過敏症などを持つ児童生徒やその保護者に対し、事前に関係部と連携しながら説明を行っている。今後、事例ごとに最適な材料や手法、工事の時期などについて検討しながら取り組んでいきたい。

この他に、市民自治について質問がありました。



すわべ ようこ  
**諏訪部 容子** 議員  
民主の会

## 地方交付税の減額

**問** 国の23年度予算に関連する公債特例法案が不成立の場合、地方交付税が減額される可能性はあるのか。



**答** 法案が成立しないと地方交付税総額のおよそ3分の1に相当する額について、その財源を手当てできない可能性があると考えられる。

成立が遅れた場合、22年度では24億円余りであった概算交付される地方交付税が大幅に減額される可能性があり、その場合、一時的に独自の資金手当てが必要になる。

地方における必要な財源は、最終的には確保されるものと考えているが、交付時期について例年と異なる可能性があることから、様々な事態を想定し対応を検討していきたい。

## 予算関連法案不成立の影響

**問** 予算に関連する法案が成立しない場合、市民生活に与える影響をどのように考えているのか。

**答** 予算関連法案が成立しない事態になった場合、様々な影響や混乱が起こる可能性は否定できないと考えている。市民生活や行政サービスの提供などに悪影響が生じないよう、地方財政計画に基づいた財源措置について北海道市長会等を通じて国に強く要請するなど、市としてできる限りの対応を行っていきたい。

みやかわ まさこ  
**宮川 正子** 議員  
公明党

## B級グルメでまちおこし

**問** 地元の食材を活用したB級グルメの開発によるまちおこしを考えてはどうか。

**答** 市では、これまでも地元食材の高付加価値化や販路拡大などに向けた取り組みに支援を行ってきた。

本年7月に江別青年会議所が、ご当地グルメを発掘する目的で江別B級グルメ選手権大会を道立野幌総合運動公園を会場に開催する予定となっており、現在準備が進められている。

市内の飲食店が考案するオリジナル料理の中から来場者の投票によりグランプリを決定し、江別を代表するご当地グルメとして市内外にPRしていくことが計画されている。地場産食材の新たなPRにつながることから、市として必要な支援を検討していきたい。



### 屋根の雪下ろし支援

**問** 屋根の雪下ろしが困難な高齢者などに対して、消防による支援や費用の助成などをすべきではないか。

**答** 今年1月の記録的な大雪は、市民生活に支障を来た状況であったため、緊急対応として、市職員を高齢者世帯等へ派遣し、危険のない範囲で雪庇落としや避難路の確保など除雪支援を実施した。

消防職員による雪下ろしは、緊急時における迅速な体制を常に確保する必要があるため、適当ではないと考える。

福祉除雪サービスや除雪派遣サービスがまだ十分に活用されていないことから、更にPRするとともに、今後も降雪状況を見極めた上で必要な支援を行っていききたい。

この他に、子宮けいがん予防ワクチンの無料接種について質問がありました。

たかはし のりこ  
**高橋典子** 議員  
日本共産党議員団

### 子育て支援策の充実

**問** 子育てを応援するまちを

目指す施策として、市民から要望のあった子供の医療費助成を拡充する考えは。

**答** 子育て世帯には、安心して子育てができる環境を提供することが重要と考えており、市立病院における産婦人科や小児科の診療体制の充実、病児・病後児保育や認定こども園の開設など、各種施策の充実を図ってきたところである。

市民からいただいた要望は貴重な声と受け止めており、全道的に新たな動きも出てきていることから、道内の状況を含め様々な観点から総合的に検討しなければならぬと考えている。

### 若者の就職活動への支援

**問** 厳しい就職環境の中、直接就職に結び付けることができるよう、継続的なサポートと取り組みが必要ではないか。

**答** 市内各大学の現段階の就職内定状況は、昨年と比べ、大変厳しいと聞いている。

市では、就職を希望する高校生向けに面接指導やビジネスセミナー講習などを実施してきたほか、23年度は大学卒業未就職者を対象にした集合研修や職場実習を実施して就職活動を支援する予定である。

各大学・高校では、様々な就職志望に応じた多様な取り組みを行っていることから、市が得た求人情報をハローワークへ提供し、一元的に管理することが重要であると考えている。

今後も関係機関と連携を図りながら、引き続き就職活動支援の充実に努めたい。

この他に、交通安全の推進について質問がありました。

しみず なおゆき  
**清水直幸** 議員  
新世クラブ

### 住宅需要のバランス

**問** 市営住宅と民間住宅の需要バランスを考慮し、住宅マスタープランを考え直す必要があるのではないか。

**答** 江別小学校、江別第三小学校の統合を含め、どのような方法で江別地区のまちづくりを進めていくのか。

**答** 江別地区は、利便性の良さやえべつみらいビルへの企業誘致などにより、新たに就業の場という魅力が付加されてきている。

**答** 住宅マスタープランにお



ける市の住宅施策については、少子高齢化が進み、市営住宅が担っている住宅に困窮する低所得者のセーフティ・ネットと高齢者や障がい者などに對する福祉施策としての需要は、今後も減少することはないと考えている。

住宅の確保については、公共と民間の役割分担を明確にしつつ、借上げ公営住宅や民間に対する建設と家賃低廉化のための支援など、民間活力による環境づくりの可能性を検討していきたい。

### 江別地区のまちづくり

はやし かつぎ  
**林かつぎ** 議員  
環境・平和・市民の会

### 未利用地の有効活用

**問** 市が所有する未利用地の利活用に関する検討は進んでいるのか。



**答** 市では、23年度中に市内を横断する組織を立ち上げ、全ての市有地について検討する予定である。

特に江別市土地開発公社から取得する土地については、当初の取得目的に沿った利活用が見込めないものについて、

他の行政目的への振り替えによる利活用や民間などへの売却、有償貸付けの可能性なども視野に入れて検討していく考えである。

庁内における検討結果については、情報公開コーナー等で市民へ知らせていきたい。

### 大学生の政策提言

**問** 大学生からの政策意見や提言の機会を保障する仕組みをつくるべきではないか。

**答** 市では昨年度から市内の大学教員等の知的資源を活用した地域活性化を目的とする調査研究事業に対して補助しており、事業の成果を市民に紹介する場として本年3月に報告会を予定している。

今後は、学生による地域活動支援事業についても発表の機会を設けるなど、学生の政策提言の場づくりについて大学と相談していきたい。

ツクス国際戦略総合特区構想の推進は。

**答** この構想は、北海道経済連合会の支援を受け国に提案しているもので、札幌市と共に地元食材を活用した食品開発や食品の健康に関する評価の仕組みをつくり、地元農業の振興を図ろうとする構想である。

本市には、ハルユタカを通じた農工商連携の実績があることから、大学などと連携を一層強め、研究機関や企業が集積する食の知の拠点として積極的に進めることにより地域経済の活性化が図られ、人口対策につながると理解している。

### 議会制度の在り方の検討

**問** 市長として議会制度の在り方などを議論する市民懇談会を設ける考えはないか。

**答** 地方自治制度を定めている法律が見直され、議会については、議員定数や議会招集回数等を自治体の条例で定めることができるようになるなど、地方の自主性を尊重する内容に改められている。

現在議会で行われている議会基本条例の制定に向けた協議の中で、議会の役割や責務

を踏まえた市民議論と議会の在り方について検討されるものと期待しており、結果を尊重したい。



### 英彦 議員

無所属

### 人材の育成

**問** 将来の地域を担う人材を育成するため、就労・自立まで一貫してサポートすることが必要ではないか。

**答** 教育や福祉、保健・医療、雇用などの関係機関と幅広く連携することにより、全ての子供や若者、家族などを適正にサポートする体制や仕組みづくりを努めることは大変重要と考えている。

市では、今後、政策として明確に位置付け、次期の総合計画の策定をはじめ、将来を担う子供たちや若者を中心とした教育の推進に関する新たなビジョンづくりなどと歩調を合わせて進めなければならぬと考えており、引き続き取り組んでいきたい。

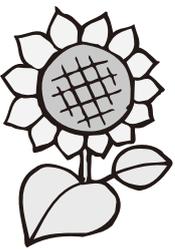
### 議会への市民参加

**問** 議会への市民参加が不可欠な時代になってきていると考えるが、市長の見解は。

**答** 議会への市民参加には、傍聴、公聴会などこれまでの制度に加え、議会による市民懇談会や報告会の開催などの手法が取り入れられていることは承知している。

自治基本条例では、議会は議会活動の情報を市民に提供し、市民に開かれた議会運営に努めなければならないと定められている。

議会において、様々な手法により市民が参加しやすい環境づくりに努めることが望ましいものと考えており、開かれた議会の実現に向けた今後の議論に期待している。



### 議会の動き

#### 〔2月〕

- 1日 生活福祉常任委員会
- 7日 経済建設常任委員会
- 7日 総務文教常任委員会
- 8日 議会運営委員会
- 17日 経済建設常任委員会
- 17日 生活福祉常任委員会
- 18日 総務文教常任委員会
- 24日 議会運営委員会

#### 〔3月〕

- 2日～25日 第1回定例会
- 2日 予算特別委員会
- 3日 総務文教常任委員会
- 4日 生活福祉常任委員会
- 7日 総務文教常任委員会
- 8日 経済建設常任委員会
- 8日 予算特別委員会
- 8日 生活福祉常任委員会
- 8日 総務文教常任委員会
- 9日 議会運営委員会
- 9日 一般質問
- 10日 図書室運営委員会
- 10日 一般質問
- 11日 議会運営委員会
- 14日～17日 予算特別委員会
- 22日 予算特別委員会
- 22日 経済建設常任委員会
- 25日 総務文教常任委員会
- 25日 議会運営委員会
- 25日 議会報編集委員会

#### 〔4月〕

- 24日 市議会議員選挙

#### 〔5月〕

- 17日 第2回臨時議会
- 17日 議会報編集委員会
- 20日 議会運営委員会

### 宮澤 義明 議員

公明党

### 札幌地区の総合特区構想

北海道フード・コンプレ

# 予算審査の概要

一般会計外各会計の新年度予算案と条例改正など関連する議案11件は、定例会初日に9名で構成された予算特別委員会に付託され、6日間に関わり審査が行われました。

なお、本会議では、一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計及び介護保険特別会計は賛成多数で、基本財産基金運用特別会計、水道事業会計、下水道事業会計及び病院事業会計は全員一致で、いずれも原案のとおり可決されました。

## 主な質疑の概要

**問** 人口減少社会を迎えた中で、今後も現行の水道料金を維持できるのか。

**答** ここ数年の決算状況などを踏まえて試算すると、23年度の予定年間総有収水量約1千77万立方メートルに対し、約4%下がると料金の見直しについて検討が必要になると考えている。

人口減少に伴い厳しい経営が予想されるが、市民の声に応えるためにも、今後も経費

節減を進めながら現行の料金水準を維持していきたい。

**問** 医師確保の現状と医師の定着に向けてどのように取り組んでいくのか。

**答** 泌尿器科など1名体制の診療科の複数化を目指すほか、従来からの課題である消化器科については、消化器病センターの立ち上げも視野に入れ全力を注いでいる。

また、医師確保には、職場環境の充実が重要であり、総合内科医の研修プログラム等を充実させることにより研修医が集まり、そのことが専門医の負担軽減にもつながると考えていることから、引き続き、働きがいのある魅力的な職場づくりに意を用いたい。

**問** 野幌駅周辺の土地地区画整理事業について、人口規模に応じた事業の見直しが必要なのではないか。

**答** 本事業は、都市生活の充実を目的に、駅前広場等の公共施設の整備が必要な区域、低未利用地の有効活用など様々な要素を加味した中で必要最小限の区域として設定しているものである。

今後、事業の節目ごとに地権者等の意見を聴き、関連

する街路事業や鉄道高架事業との整合性を図りながら、目的に沿った形で事業を進めていきたい。

**問** 江別の魅力発信や市内へ観光客を呼び込むためにどのように取り組んでいくのか。

**答** これまでも各種事業により、市内の資源を活用した特産品の開発など様々な動きが出ているが、今後は百貨店への出店支援や特産品の展示販売だけではなく、市外から江別市へ足を運んでもらえるような仕組みづくりが必要と認識している。

23年度からは、新たに地域プロモーション推進事業により、江別観光協会を支援しながら、観光情報の発信や観光客の誘致に努めていきたい。

**問** 消防用備品の整備・管理状況はどうなっているか。

**答** 23年度は、有毒ガス災害など救助体制の強化を図るため、新たに全身化学防火服を整備する計画である。

この他、消防用ホースは、耐用年数に関わらず、毎年、全てのホースの耐圧検査を実施するなど消火活動等が安全かつ迅速に行えるよう計画的に備品整備を進めている。



**問** 地域包括支援センターの機能をより強化するためにどのように取り組んでいくのか。

**答** 高齢者が増える中、ケアプランの作成にとどまらず、権利擁護や総合相談機能などの重要性が高まっている。

このため、センターの数や運営経費の課題について、介護保険事業計画策定等委員会等で検討を行うほか、自治会や介護保険サービスマスターなど生活圏内との関係者と情報を交換しながら、ネットワークを生かした活動ができるよう市として支援していきたい。

**問** 小中学校学習サポート事業における学校支援地域本部の設置状況は。

**答** 20年度から3年間、国の委託事業として江北中学校区で実施してきた。

23年度からは、市内一円を一つの学校支援地域本部と位置付け、教育委員会に学校とボランティアをつなぐコーディネーターを配置する予定である。

今後は、より幅広く地域の人材を活用した学校支援につなげていけるよう準備を進めていきたい。

**問** 福祉施策等を拡充するために各種基金を弾力的に活用できないか。

**答** 現在、江別市には16の基金があり、これらを使うことを否定するものではなく、必要に応じて積極的に使うべきものと理解している。

一方で、継続的に数千万円を必要とする事業に、限りある基金を財源に充てることは、臨時的な支出への備えという性格を持つ基金が短期間で枯渇することも考えられることから、必要な事業については、毎年度の一般財源で対応するなど費用対効果から判断されるべきと考えている。

### 予算特別委員会委員

- ◎齊藤 知子
- 三角 芳明
- 五十嵐 忠男
- 高間 専逸
- 林 かつき
- 星 秀雄
- 干場 芳子
- 宮川 正子
- 森好 勇
- ◎委員長 ○副委員長

# 意見書

次の意見書を国会や国に提出しました。

## ◎若者の雇用対策のさらなる充実を求める意見書

今春卒業見込みの大学生の就職内定率は、昨年12月1日時点で68・8%と平成8年の調査開始以降で最悪となり、日本の将来を担う若者の今後の人生においても、経済・社会の活力低下という観点からも憂慮すべき事態です。

このような中、就職活動において都市部の学生が地方の企業情報を求めても、中小企業の多くは、資金的な理由から事業内容等を提供することができず、都市部と地方における企業情報の格差が指摘されています。

このため、地域による情報格差を解消し、雇用のミスマッチ解消をはじめとする若者の雇用対策を更に充実させるよう国に要望しました。

## ◎東北地方太平洋沖地震の緊急災害対策を求める意見書

去る3月11日に発生した地震は、大津波を伴ったことで数多くの尊い人命と貴重な財産を奪い、交通網やライフラ

インなどを破壊し、都市機能や地域経済に壊滅的打撃を与えています。

さらに、東京電力福島第一原子力発電所の施設被害により、周辺住民が避難を余儀なくされているほか、農業など産業への影響も甚大です。

このため、被害の拡大を最小限にとどめ、被災地の復旧・復興に向けた財政的支援をはじめ万全の措置を講じるよう国会及び国に要望しました。



# 陳情

## ■趣旨採択となった陳情

◎「人工内耳」体外機器の買い替え及び機器にかかる電池交換費用の助成に関することについて  
稲山静子氏

## ■継続審査となった陳情

◎「学校施設」としての江別小学校を「秋ヶ岡」に残すこと  
を求めることについて  
江別小学校を守る会  
代表 今野裕次氏

## 会派構成

民主・市民の会	自民クラブ	改革江別無所属の会	公明党	日本共産党議員団
赤坂 干鈴 内岡 尾林 本	三角 田島清高野	(代表) 岡立 石星山	坂下 齊馬川 裏相宮	(団長) 橋好本 高森吉
会長 長計 会務局長	会副幹事			

平成23年5月1日就任

### 江別市議会議員一覧

50音順

氏名	住所	電話番号
赤坂 伸一	野幌代々木町26-6	383-4452
石田 武史	大麻高町3-24	387-3309
内山 祥弘	野幌若葉町13-14-406	398-5787
裏 君子	上江別西町14-36	381-3033
岡 英彦	錦町2-3 102	384-2705
岡村 繁美	新栄台51-17	383-9115
尾田 善靖	向ヶ丘1-5	383-8495
齊藤 佐知子	大麻ひかり町50-6	386-7486
坂下 博幸	野幌東町41-10	385-2834
島田 泰美	元野幌147-20	384-2165
清水 直幸	一番町25-11	383-5413
鈴木 真由美	幸町11-7	382-5895
相馬 芳佳	いずみ野6-11	382-0217
高橋 典子	大麻元町158-83	387-1271
高間 専逸	東光町45-8	383-8671
立石 静夫	野幌代々木町51-18	383-3154
角田 一	高砂町36-3-B201	590-1307
野村 尚志	大麻扇町11-4	386-8650
林 かづき	上江別466-5	389-3999
星 秀雄	上江別108-3	383-4362
干場 芳子	東野幌本町65-10	381-2113
本間 憲一	文京台東町11-18-C201	398-8464
三角 芳明	美原190	384-6044
宮川 正子	野幌屯田町44-18	384-5742
森好 勇	野幌東町25-12	383-3053
山本 由美子	見晴台86-10	384-0347
吉本 和子	朝日町32-4	382-5659

## 編集後記

▼ 東日本大震災で犠牲となられた方々のご冥福を心からお祈りいたします。また、いまだ数多くの方が避難生活を余儀なくされておりますことから、お見舞い申し上げますとともに一日も早い復興を願っております。

▼ さて、4月の統一地方選挙において、多くの市民からの負託を受けて27人の新しい市議会議員が誕生しました。これから市政発展のため議員一丸となって取り組んでまいります。

▼ この議会だよりを通して、これからの議会活動について分かりやすい紙面づくりに努めてまいりますので、ご支援をお願いします。

